

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 7月 3日 (水)

2 確認箇所

Dタンクエリア

3 確認項目

Dタンクエリア転用作業の進捗状況

4 確認結果の概要

現在、RO処理水(淡水)^{※1}は、H9及びH9西タンクエリアのフランジ型タンクで貯留する運用がなされているが、漏えいリスクを低減するため、今後は溶接型のタンクで貯留することとしている。H9及びH9西タンクエリアで貯留されているRO処理水(淡水)の移送先として、溶接型タンクが設置されているDタンクエリアにおいて、ストロンチウム処理水^{※2}を貯留しているタンクの一部(写真1)を転用する作業が実施されていることから、作業の進捗状況を確認した。

※1 汚染水を炉注水として使用するために淡水化装置で塩分を取り除く処理をした水

※2 汚染水をセシウム吸着装置等の処理装置でセシウムやストロンチウムを低減した水

- ・現地確認時には作業は行われていなかったが、転用するタンクの周囲には仮設ホースが敷設されており、タンク天板には作業用足場が設置されていた。(写真2)
- ・Dタンクエリア南側の外堰内において追設移送配管が敷設されていたが、工事途中であった。(写真3)



(写真1)

Dタンクエリアの転用対象タンクの状況(エリア南東側から撮影)



(写真 2 - 1)
仮設ホースの敷設状況



(写真 2 - 2)
作業用足場の設置状況



(写真 3)
追設移送配管の敷設状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。